


令和2年 8月 24日

浜田市議会議長 川神 裕司 様

議員名 沖田 真治 

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間

令和2年7月22日(水) 13:15~16:15

2. 研修内容

議員の資質向上と政務活動費活用策

3. 研 修 先

自治体議会特別セミナーIN 松江
島根県民会館 305 会議室

4. 調査経費 5,000 円

経費内訳 受講料 5,000 円

5. 調査研究活動の概要

別紙のとおり



自治体議会研究所 代表の高沖秀宣氏による研究会に参加した内容は下記のとおりです。

【議員の資質向上】

議会の機能

- 審議・熟議する機関。
- 住民代表機関として多様な民意が求められており、決定までのプロセスが大切。
いかに民意を反映できるかが課題とされる。

議決機関としての機能

- 条例の制定や予算などの重要案件が自治体意志として議決によって決定される。
- 条例と予算の決定権を持っている自覚をしっかりと持つことが必要であり議会と首長との政策の競い合い。

首長、その他の執行機関の事務執行に対しての監視機能

- 執行機関の追認機関からの脱皮、自治体意志の決定機関の自覚、質問だけから議員同士の討議を中心とした議会運営、戦略を持って政策提言できる議会へ。
これまでの監視型から政策提案型の議会へ。
- 議員力とは、市民の立場から様々な問題点や課題をとらえ、それらを解決するために備えておくべき議員としての能力、すなわち審査機能、監視能力、政策立案能力などをいう。
- 議会力とは、二元代表制の一翼を担う議会として、市民の負託と信頼に応えていくために備えておくべき機能、すなわち意思決定機関としての機能並びに執行機関に対する監視機能、政策形成機能、政策立案機能など原則的かつ総合的な機能をいう。

議員に求められる資質

- 「専門性」特定の分野に関する高い専門性知見を有していること、地域の政策課題を的確に把握し、必要な情報収集を行いながら、議会において政策提言、政策立案を行うことや、合議体の議会において意見集約し、合意を得るための調整能力も専門性に含める考え方もある。このような専門性は議会として有していれば良いという考え方もあるが、監視機能や政策形成機能等の議会機能を一層発揮していくためには、議会として議員の専門性を高めるための研修を絶えず行うとともに、公聴会や参考人制度等の活用を図りながら、議会の専門性を高めていくべきである。

議会改革とは

- 二元代表制の下で議会の役割を十分に発揮するために、その機能を強化すること、二元代表制を追求し実質化していくこと。

- 議会改革度を測る基準として

1. 情報共有 本会議などの議事録や動画、政務活動費、視察結果の公開など
2. 住民参加 傍聴のしやすさ、議会報告などの実施、住民意見の聴取など
3. 議会機能強化 議会本来の権限、能力を発揮するための機能強化状況など

【政務活動費活用策】

政務活動費の適切な運用

1. 使うことが目的ではなく、議員活動の成果を挙げるための支援措置、何のために使うかの認識が重要。
2. 住民福祉の増進のため、どのような議員活動を行うべきかを定めることが重要。
3. 実費弁償を旨として、宿泊費等の定額支給は改めるべき。旅費条例の考え方とは異なるので日当等は不要である。
4. 委員会の視察とか議員派遣のような命令権者から命令されて行く公務出張とは別で、議員が自発的に行うものとの認識が必要。
5. 概算払いの預り金であり、余りが出れば当然返金するもの。
6. 収支報告は会計報告だけではなく、活動の成果報告であり、ただ使うだけではなく、その成果を示すこと、その成果報告も併せて作成しておくこと。
7. まずは、議員活動を積極的に行うことが前提。本会議の質問や委員会の調査、住民意見の把握や行政問題に対する解決策の模索などの政務活動に活用すべきであり、実績は議員に立証責任あり、住民を納得させることが重要。

政務活動費の在り方

- 政務活動費における政務の意味を議会会派による政策の立案・決定・提言の機能を引き寄せて解釈し、その機能が適正に発揮される方向で政務活動費の用途を転換する。用途の拡大ではなく質の充実が必要。

所感 今回の研修で学んだことは、議会としての民意を反映するための公聴の在り方、課題解決のための討議の在り方など大いに参考になった。現在でも浜田市議会は積極的に議会改革に取り組んでおり、議員間討議や広報、公聴にも力を入れている。今後その一員としての自覚をもって活動に臨んでいくことの再確認ができ、とても良い研修だった。機会があれば積極的に参加しようと思います。